

まことこの道【睦月】一月

霊元天皇御製

おこたらず

たむけ

祈る手向の言の葉は

おろかなるをも

神や受くらむ



家庭祭祀のおすすめ

新しいお神札で新しい二年を

昔から日本の家庭では、新年を迎えるにあたり、氏神様をおまつりする神社から新しくお神札を受け、新しい年の家族の幸福を祈ってきました。

古いお神札は、今年一年を無事に過ごせたことに感謝し、神社に納めます。

そして神社では、納められたお神札をお祓いしたのち清浄な火で焼納します。



どんど焼き風景

年ごとに新しい神宮大麻

(伊勢の神宮のお神札)と

氏神様のお神札を受けて、

新しく清々しい一年を

迎えましょう。



神奈川県神社庁ウェブサイト

# まことの道

一月

れいげんてんのうぎよせい  
靈元天皇御製

おこたらず祈る手向たむけの言の葉は  
おろかなるをも神や受くらむ

自由に一枚づつお持ち下さい。

神奈川県神社庁

〒235-0019横浜市磯子区磯子台20-1

TEL:045(761)6387

FAX:045(761)0100

E-mail:k-jinjacho@kanagawa-jinja.or.jp



# 1月の 祝日

- 元日
- 成人の日

**元日（一月一日）** 年のはじめを祝う

年の初めに年神さまを迎え、もてなすことが正月行事の中心です。家庭では門松を立て、注連飾りをつけ、鏡餅や御神酒をお供えしておまつりします。

宮中では天皇陛下により「四方拝しほうはい」などが行われます。

**成人の日（一月第二月曜日）** おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます

元々は旧暦の小正月にちなんで二月十五日とされ、古くは男子の元服げんぷくや禪祝ぜんじいわい、女子の成女式せいじょしきがこれにあたりました。

そして祝日法改正に伴い、平成十二年より一月第二月曜日に定められています。

成人に達しましたら氏神さまへお参りし、成人した旨の奉告をしましょう。